

報告書の作成にあたって

参議院は、平成15年7月28日の参議院改革協議会報告書の提言「ODA経費の効率的運用に資するため、新たにODAに関する専門の調査団を派遣すること」等に基づき、平成16年度から毎年度ODA調査のための議員派遣を行っている。

第14回目となる平成29年度のODA調査派遣は、中央アジア・東アジア地域としてカザフスタン共和国、モンゴル国班、大洋州地域としてパプアニューギニア独立国、ソロモン諸島班、アフリカ地域としてナイジェリア連邦共和国、コートジボワール共和国、ベナン共和国、フランス共和国班、中米地域としてキューバ共和国、ジャマイカ班の4班で実施された。

本報告書は、上記4地域に派遣された議員団の調査結果を1冊に取りまとめたものである。各派遣団に1章を割り当て、参加した議員の総意により、調査の概要及び所見を記述している。

報告書は、過去の取扱いと同様に、議員各位に配付するとともに、関係諸機関等に送付し、また、本院ホームページ等を通じて、広く一般に公表することとした。

厳しい財政事情の中、政府開発援助の一層の効率化が図られるよう、本報告書が関係委員会等における国政審議に活用されることを切望するものである。

最後に、今回のODA調査派遣に当たり、内外の関係機関等の方々には大変なご協力を頂いた。ここに改めて感謝の意を表したい。

平成30年3月記

参議院政府開発援助調査派遣団

カザフスタン、モンゴル班	団長	岩井茂樹
パプアニューギニア、ソロモン諸島班	団長	藤川政人
ナイジェリア、コートジボワール、ベナン、フランス班	団長	江島潔
キューバ、ジャマイカ班	団長	豊田俊郎